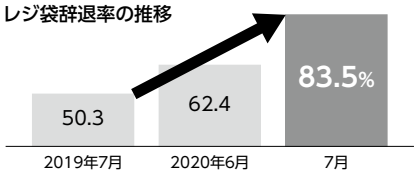
プラスチックごみを減らそう！

まずはレジ袋の削減から。マイバッグを持参しましょう。

群馬県作成の動画「STOPレジ袋！」の撮影に、
コープ昭和店が協力しました。

YouTube
チャンネル
[tsulunos]



7月1日から全国一律でプラスチック製買い物袋（レジ袋）の有料化が義務付けられました。レジ袋の有料化を通じて、私たち一人ひとりが、海洋プラスチックごみや地球温暖化などの環境問題に向き合い、プラスチックの過剰な使用を控えるなど、環境を意識してライフスタイルを見直すことを目的としています。

さて、みなさんは、レジ袋をもらわないことが習慣になっているでしょうか？

群馬県が調査した7月の県内主要スーパー7事業者のレジ袋辞退率の平均は83.5％で、1年前の2019年7月（50.3％）から33.2ポイント上昇しました。コープぐんまの9月のレジ袋辞退率は、85.4％です。引き続きマイバッグの使用をよろしくお願いいたします。

そして、使い捨てプラスチック製品の使用を控えましょう。

一度だけ使って捨てられることの多いプラスチック製品は、レジ袋だけではありません。何気なくもらったプラスチック製のストローやスプーン、マドラーなどが、家で使わないまま眠っていることはないでしょうか。

必要のないプラスチック製品はもらわない、簡易包装のものを購入するなど、私たち一人ひとりが「断る」「選ぶ」という行動に取り組むことで、社会全体のプラスチックごみ削減につなげましょう。

× 使い捨てのスプーン、フォーク、プラスチックカップや容器、過剰包装のものなど

○ エコマークのついた詰替製品、マイボトル、マイ箸、弁当箱など

2050年には、プラスチックごみを「ゼロ」に！

山本知事が小泉環境大臣に面会

2019年12月、群馬県は「2050年に向けた『ぐんま5つのゼロ』」を宣言しました。宣言4としてプラスチックごみ「ゼロ」を掲げ、2050年までに環境中に排出されるプラスチックごみをなくすことを目指しています。

2020年度、コープぐんまは群馬県と連携して、プラスチックごみ（宣言4）や食品ロス（宣言5）の削減に向けた啓発事業を行っていきます。

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」

宣言1	自然災害による死者	「ゼロ」
宣言2	温室効果ガス排出量	「ゼロ」
宣言3	災害時の停電	「ゼロ」
宣言4	プラスチックごみ	「ゼロ」
宣言5	食品ロス	「ゼロ」